

# 大豆情報

## H30 Vol.2

H30.8.20

宮城県 石巻農業改良普及センター

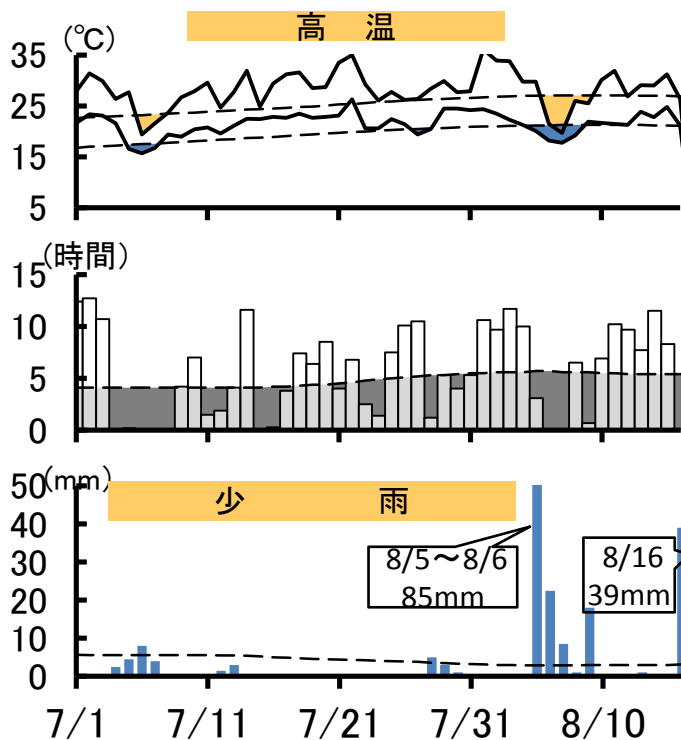
Tel : 0225-95-7612 Fax : 0225-95-2999

### 7月以降の気象経過

◆気温：7月末までは平年よりも高温でした。8月上旬に低温の時期あり。

◆日照時間：7月上旬以降は一般的に多照で経過。

◆降水量：7月は極めて少雨。  
8月5～6日に85ミリの多雨。



### 調査ほの生育状況(8/10)

#### 6月中旬播種までのタンレイ、タチナガハで開花早まる

表1 調査ほの開花期と8月10日調査結果

| 品種(作型)<br>地点名(旧市町)         | 播種日<br>(月日) | 開花期<br>(月日) | 栽植密度<br>(本/㎡) | 主茎長<br>(cm) | 主茎節数<br>(節/本) | 分枝数   |       |      |
|----------------------------|-------------|-------------|---------------|-------------|---------------|-------|-------|------|
|                            |             |             |               |             |               | (本/本) | (本/㎡) |      |
| タンレイ<br>(普通)<br>広淵(河南)     | 本年          | 6/17        | 8/01          | 11.9        | 63.4          | 14.1  | 1.8   | 21.3 |
|                            | 前年差・比       | +3日         | -5日           | 80%         | -1.1          | +0.3  | -0.2  | 72%  |
|                            | 平年差・比       | +3日         | -2日           | 80%         | +13.3         | +1.3  | -0.0  | 78%  |
| タンレイ<br>(麦あと)<br>水沼(石巻)    | 本年          | 6/12        | 7/30          | 13.5        | 63.4          | 14.1  | 1.8   | 24.1 |
|                            | 前年差・比       | -4日         | -3日           | 105%        | +8.6          | +2.8  | -1.4  | 59%  |
|                            | 平年差・比       | -5日         | -5日           | 94%         | +8.9          | +1.9  | -0.9  | 65%  |
| タチナガハ<br>(麦あと)<br>蛇田(石巻)   | 本年          | 6/07        | 7/26          | 9.8         | 48.7          | 13.5  | 2.8   | 27.7 |
|                            | 前年差・比       | -17日        | -13日          | 75%         | -3.6          | +2.9  | +1.9  | 237% |
|                            | 平年差・比       | -2日         | -11日          | 80%         | -6.5          | +0.5  | +1.0  | 127% |
| ミヤギシロメ<br>(麦あと)<br>小船越(河北) | 本年          | 6/25        | 8/13          | 9.4         | 48.8          | 12.5  | 2.3   | 22.0 |
|                            | 前年差・比       | +5日         | +6日           | 87%         | -21.2         | -0.7  | -0.2  | 82%  |
|                            | 平年差・比       | +15日        | +6日           | 93%         | -21.9         | -1.9  | -0.7  | 73%  |
| ミヤギシロメ<br>(麦あと)<br>牛田(桃生)  | 本年          | 6/25        | 8/12          | 8.9         | 51.9          | 11.6  | 2.3   | 20.7 |
|                            | 前年差・比       | +11日        | +1日           | 76%         | -7.7          | -0.6  | +0.4  | 93%  |
|                            | 平年差・比       | +6日         | +1日           | 76%         | -4.4          | -0.7  | +0.5  | 98%  |

※ 平年値：H24～H28の5か年平均。

※ タチナガハ(蛇田)は調査4年目のため、平年値はなし。

◆主茎長はタンレイでは平年よりも長くなっていますが、ミヤギシロメでは播種期を遅らせたこともあり短くなっています。主茎節数は小船越で平年より少なく、1㎡当たり分枝数は蛇田を除いて平年より少なくなっています。

◆開花期はタンレイ、タチナガハで早く、ミヤギシロメは播種期を遅らせたこともあってやや遅い傾向でした。

## 今後の管理

### ◆病虫害対策

- **紫斑病** …> 発生量は「やや多」と予想されています。開花期の**20～40日後に防除**  
**タンレイは2回防除を徹底**しましょう。2回防除の場合、1回目は開花期後25日頃、2回目は開花期後35日頃に適期防除に努めましょう。

ミヤギシロメ、タチナガハについても適期防除を徹底しましょう。

### ○ 子実害虫

- ☆ **マメシクイガ** …> **8月末～9月上旬に1回目、その7～10日後に2回目の防除**  
発生量は「**平年並**」の予想ですが、連作4年以上のほ場では防除が必要です。  
※ アグロスリン乳剤、プレバソンフロアブル5は1回防除で高い防除効果の報告があります。  
※ プレバソンフロアブル5を使用する場合は、残効が長いのでやや早めの8月下旬に防除する。

- ☆ **カメムシ類** …> **8月下旬～9月上旬に防除、多発時は9月中旬～下旬に追加防除**  
発生量は「やや少」の予想ですが、マメシクイガとの同時防除が基本です。多発時には、9月中旬～下旬に追加防除しましょう。

### ○ 食葉性チョウ目幼虫

食害葉面積20% (右写真)を目安に防除しましょう。



### ○ ジャガイモヒゲナガアブラムシ

8月下旬～9月上旬が例年の発生ピークです。

葉の黄化・褐変が見られたら葉の裏を確認し、発生量が多い場合は早めに防除しましょう。

- **タンレイ**  
▶ **紫斑病対策を最優先**
- **ミヤギシロメ・タチナガハ**  
▶ **マメシクイガやカメムシ類等の防除を優先**

### ◆雑草対策

◎ タデ類, シロザ, アメリカセンダングサ, イヌホオズキ等の雑草が収穫時に残っていると汚粒の原因となるため, 非選択性除草剤の畝間散布(雑草草丈約15cmまで)や手取りで除草を行きましょう。

◎ 9月以降, 多くの雑草が開花して種子をつけ始めるため, イヌホオズキやアレチウリ, アサガオ類等の難防除雑草の多いほ場では, 早めに除草を行きましょう。

「大豆作における難防除雑草アレチウリの対策」(普及に移す技術第90号)に詳しいアレチウリの防除対策が掲載されています。

※ アレチウリは‘外来生物法’によって「特定外来生物」に指定されており, 生きたまま移動させることが禁止されています。防除を行う際にも, 生きた植物体(発芽可能な種子も含みます)を発生区域外に持ち出さないよう十分に注意して下さい。

### ◆湿害対策

◎ 大雨のあとや, 降雨が続く際はほ場を見回り, **排水が保たれているか確認**しましょう。

排水溝は詰まっていないか



明渠に停滞水が溜まっていないか

